

毛呂山町立小・中学校編成計画

【めざす子ども像】

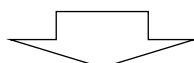
夢をもち 世界にはばたく 毛呂山の子ども

＜毛呂山町の教育をめぐる状況＞

児童生徒数の減少

児童生徒数の減少に伴う教職員数の減少

学校施設の老朽化



◎毛呂山町教育委員会では、

「小中一貫教育の更なる充実と、児童生徒のより良い教育環境を整備するために」

川角中学校区 → 施設一体型小中一貫校 (令和11年度開設)

毛呂山中学校区 → 施設隣接型小中一貫校 (令和11年度開設)

◎施設一体型・施設隣接型でこのような小中一貫教育をめざします！

①教育内容の充実

・小学校での教科担任制の強化 ・中学校での教科センター方式の導入

- ★小学校と中学校の教員が同じ校舎または敷地にいるため、教員同士の連携がしやすくなります。
- ★中学校に「数学室」や「外国語室」を整備し、生徒の「学びたい」気持ちを引き出すことができます。(数学室…数学の時間に生徒がその教室に移動し、数学の学習環境が整備された教室で学習します。)

②児童生徒の交流

・異学年理解や協働学習の促進 ・リーダーシップや思いやりの育成

- ★1学年に複数の学級があることで、多様な考えに触れ、認め合い、切磋琢磨することができます。そのような環境の中で、意欲や成長をより引き出すことができます。
- ★小学生は先輩の姿を目標に、中学生は後輩への思いやりの気持ちをより大切に学ぶことができます。

③家庭・地域との連携

・会議室やコミュニティルーム、コミュニティスペースの整備
・義務教育9年間の連続した協働

- ★コミュニティ・スクールの機能を生かし、学校が地域コミュニティの拠点となるようにします。
- ★保護者や地域の方にとっても、より効率よく学校との協働ができます。家庭・地域と一体となって児童生徒を育成します。

◎現在、小中学校では、小中一貫校開設に向けて、さまざまな取組を行っています。

学びのつながり

乗り入れ授業

年間を通じ、中学校教員が小学校に出向き、小学校教員と2人で授業を行っています。（主に6年生）

【令和6年度】

毛呂山小：数学 泉野小：音楽

川角小：技術 光山小：技術



中学校 授業風景（1年生 社会）

★令和5年度に小学校で乗り入れ授業を行っていた先生が、1年生の社会の授業を担当しています。



- ・小学校のときに教えてもらった先生だから安心。
- ・やっと〇〇先生の授業が受けられる！

○中学校という新しい環境の中で、知っている先生が授業をすることで、生徒が安心して授業を受けられています。

○先生も小学校の時の生徒の様子がよくわかっており、先生と生徒の関係もよいです。

専科授業

小学校でも高学年を中心に専科授業を実施しています。
（ある特定の教科を専門的に担当する教員による授業）

【令和6年度】

毛呂山小：理科・音楽 など

川角小：外国語・理科・音楽 など

光山小：理科・音楽 など

泉野小：外国語・理科・音楽 など



小中一貫教育合同研修会

中学校区の教職員（小学校2校・中学校1校）による合同研修会を実施しています。

<授業>

- ・「いのちの教育」に関する授業
- ・別の小学校の先生と一緒にいる授業
- ・小学校と中学校の先生と一緒にいる授業
- ・ゲストティーチャーを招いた授業

など



ゲストティーチャーを招いた授業

<専門部会>

◎小中一貫校開設に向けた話し合いを行っています。（9年間を見通した指導方法、カリキュラム等の話し合い）

【令和6年度】

・日課表

小学校は45分授業、中学校は50分授業。
ともに活動するための日課をどう調整するか。

・生活のきまり

小学校と中学校で揃えていけるものは何か。

・安全な登下校のための工夫

など



小学校と中学校の先生と一緒にいる授業



専門部会の様子

☆実施日【令和6年度】いずれも5時間目

【毛呂山中学校区】 6/28(金)毛呂山小 11/15(金)泉野小 1/24(金)毛呂山中

【川角中学校区】 6/21(金)光山小 11/19(火)川角小 1/21(火)川角中

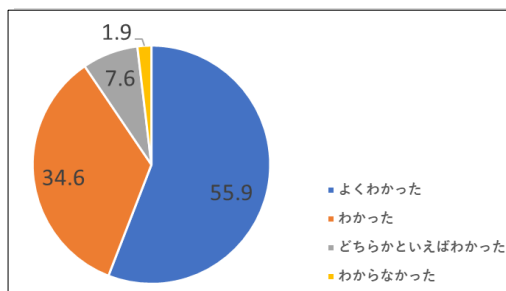
- ◆小中一貫校になると、先生も児童生徒も校舎や教室の移動がしやすくなり、このような機会が増えます。より専門性の高い教育を行うことができます。
- ◆小中学校教員が互いの授業に入ること、児童生徒の安心感につながります。
- ◆各学校での学習の様子をぜひご覧ください。

◎次回は「人と人のつながり」について紹介します。

第1回小中一貫教育合同研修会 アンケート結果より

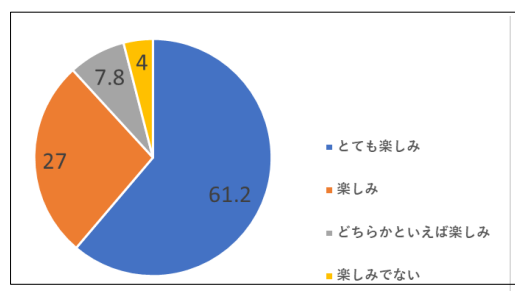
<児童>

① 今日の学習内容は分かりましたか。



90.5%の児童が「わかった」と答えています。

②毛呂山町の小中学校では、今日のような授業や活動をこれからも行っていきます。このことについてどう思いますか。



88.2%の児童が「楽しみ」と答えています。

③ 今日の学習をふりかえりましょう。

- ・〇〇さんの仕事が分かりました。また話を聞きたいです。
- ・クジラの見れる割合を調べるときに、中学校の先生に教えてもらってよく分かった。
- ・中学校の先生が、英語の発音を大きい声で聞こえやすく言ってくれて分かりやすかった。
- ・命があることはありがたんだなと思いました。命を大切にしようと思いました。
- ・日本人であんなに英語を上手に話せるなんて中学校の先生はすごいと思いました。私も英語をうまく話せるようになりたいです。そして、小中一貫で授業を行ってみたいです。

<教職員>

①合同研修会の感想

- ・コミュニティースクールの取組という観点において、効果的なゲストティーチャーの活用について学びました。
- ・中学校での学習環境を整える取り組み等を聞き、高学年に取り組むなどもできそうで、よいと思いました。
- ・より専門的な指導をすることができるのでよい取り組みだと思いました。
- ・ゲストティーチャーとして体育の授業に参加させていただいて、一生懸命挑戦する姿が印象的でした。中学校で体育授業をする中で、小学校での授業が充実されているのだと思う場面が多くあります。小学校での学習を活かし授業に取り組んでいます。

②毛呂山町では、令和11年度の小中一貫校開校に向け、乗り入れ授業、ゲストティーチャーを招いた授業、小中（小小）の児童生徒等の交流等の取組をします。この取組についてどう思いますか。

93.2%の教職員が「よい取組」と答えています。

